

# 猛暑等の影響および対策に関するアンケート結果

近年、地球温暖化による年平均気温の上昇や真夏日の増加等が確認されており、農業の生産現場では農作物の高温障害及び農作業環境の悪化など様々な影響がでています。

そこで、東京都内で営農する農業者にとって、どのような影響があるのかを調べるため、東京都農業経営者クラブと東京都農業法人協会が協力して、それぞれの会員に対するアンケートを実施しました。このたび集計結果がまとまりましたので公表します（東京都、都内自治体と農業委員会、関係機関にも共有します）。

猛暑等の気候変動の影響は農業者個人の努力や工夫だけでは乗り越えることが難しい問題です。本アンケート結果が暑熱対策の情報共有や支援の充実に向けて役立てられることを期待します。

## ◆調査実施時期

令和6年（2024年）1～2月

## ◆アンケートの対象者

都内の農業経営者クラブ会員農家（※）  
東京都農業法人協会会員

※農業経営者クラブがある区市

世田谷区、江戸川区、青梅市、立川市、昭島市、調布市、小金井市、小平市  
東村山市、東久留米市

## ◆有効回答数

371経営体（対象の58%）

<経営類型の内訳>

野菜経営 65.8%      果樹経営 15.9%      花き経営 6.7%  
植木経営 9.7%      その他 1.9%

## 5 猛暑に対する具体的な工夫・対策

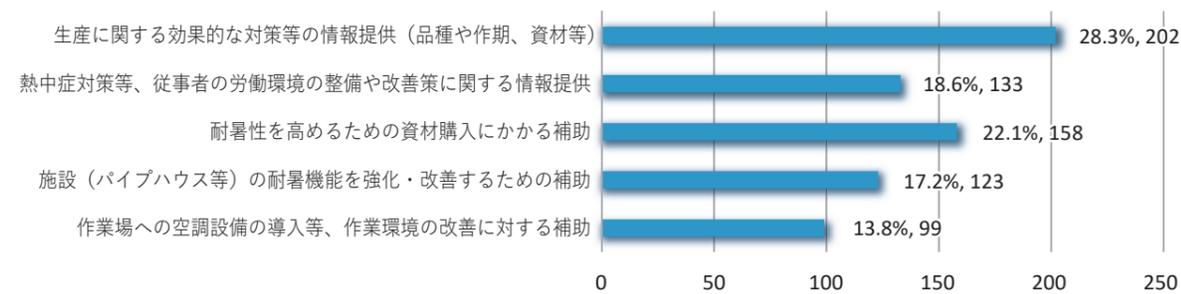
猛暑に対する具体的な工夫・対応方法について自由記入欄に記入された回答の一部を紹介します。

- ◆白黒マルチによる地温低下（世田谷区 野菜経営）
- ◆ビニールハウスの屋根を開けられるように新築し、日除けも設置した。  
（江戸川区 野菜経営）
- ◆ミスト、寒冷紗、扇風機の活用で作業負担を減らすようにしている。  
（昭島市 花き経営）
- ◆7～8月まきの秋冬野菜の播種を20日程度遅らせた。（小金井市 野菜経営）
- ◆果樹をジョイント式に移行した。根元には点滴灌水、通路には防草シートを設置  
（東村山市 果樹経営）
- ◆9月どりホウレンソウは白黒マルチ、遮光トンネルフィルム使用  
（東久留米市 野菜経営）

## 6 国や都、団体等に求める支援策

近年の猛暑に対し、国や都、団体等に求める支援策として、選択肢から選んで回答（複数可）してもらったところ、1位が「生産に関する効果的な対策等の情報提供（品種や時期、資材等）」（202件）、「耐暑性を高めるための資材購入にかかる補助」（158件）、「熱中症対策等、従事者の労働環境の整備や改善に関する情報提供」（133件）でした。

近年の猛暑に対する支援策について（n=327）



## 7 意見・要望

自由記入欄に寄せられた対策等猛暑に関するご意見、国や都、団体等への要望の一部をご紹介します。

- ◆井戸を掘る費用の補助を要望します（世田谷区 野菜経営）
- ◆農業振興地域への灌水施設等の整備を要望します（世田谷区 植木経営）
- ◆空調服購入への支援も必要（立川市 植木経営）
- ◆猛暑に耐えられる品種改良と品質向上及び資材等、猛暑に対する諸作業に十分な財政的支援の充実と指導を求めます（昭島市 野菜経営）
- ◆畑から作業場、作業場から市場への運搬に保冷車が必要。購入に補助があればと思う  
（昭島市 野菜経営）
- ◆対策は5年、10年単位で考えて行くことが必要（小平市 野菜経営）

## 東京都農業経営者クラブ 東京都農業法人協会

事務局：一般社団法人東京都農業会議

東京都渋谷区代々木3-25-3 あいおい三ッセイ同和損保新宿ビル10階

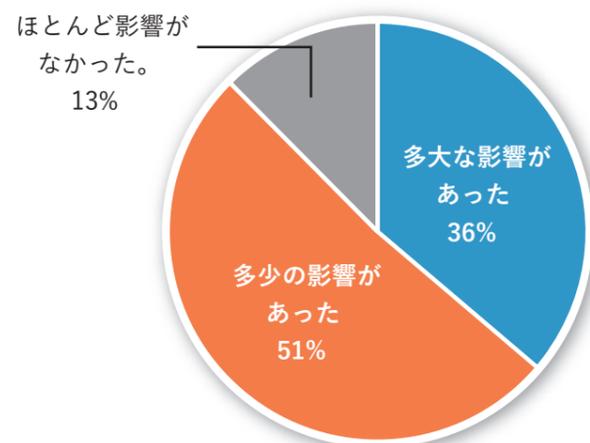
電話：03-3370-7146

## 1 近年の猛暑の影響

経営者自身の実感として、近年の猛暑が農業生産にどの程度影響があったか、選択肢から選んで回答してもらいました。「多大な影響があった」(36%)、「多少の影響があった」(51%)を合わせると大半が猛暑による影響を受けていました。

経営類型別で見ると、花き経営の半数以上が「多大な影響があった」と回答しており、花き生産における猛暑の影響がとりわけ大きいことがわかりました。

近年の猛暑の影響について (n=370)

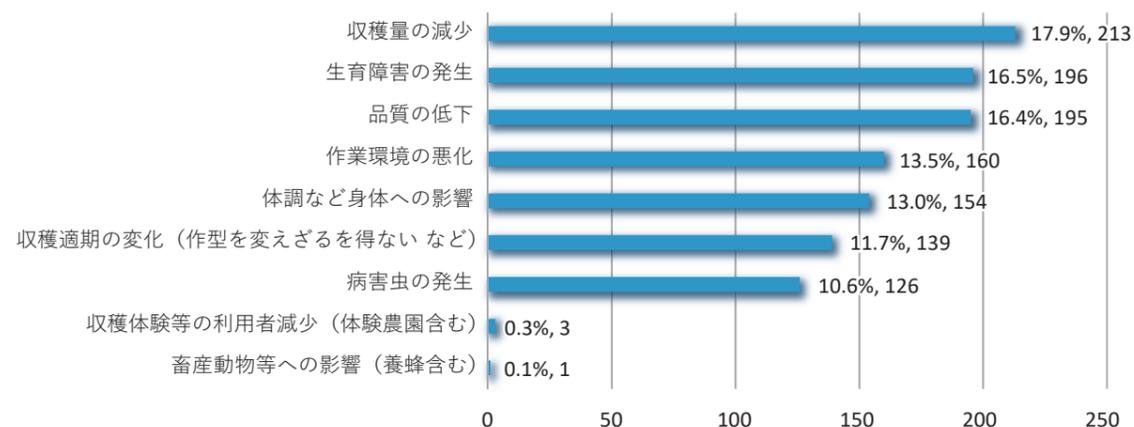


## 2 影響の大きかった内容

設問1で「多大な影響があった」、「多少の影響があった」を選んだ回答者から、農業生産に与える影響が大きかった内容について、選択肢から回答(複数可)してもらったところ、1位が「収穫量の減少」(213件)、2位が「生育障害の発生」(196件)、3位が「品質の低下」(195件)でした。

自由記入欄によると、高温の影響の他に水不足も深刻で、水やり回数の増加、灌水施設のない畑での作物の枯死、コスト(水道料)増加などが問題になっていました。

猛暑の影響が大きかった内容について (n=328)



## 3 影響の大きかった品目等

設問1で「多大な影響があった」、「多少の影響があった」を選んだ回答者から、最も影響の大きかった品目やその具体的な影響等を聞き、その回答について以下に要約しました。

類型	品目	具体的な影響の内容
野菜	トマト	作期の縮小や高温障害による品質の低下(裂果、尻腐れ)・収穫量の減少
	ネギ	苗の移植後の病害虫の発生や高温障害による生育不良・枯死による収穫量の減少
	コマツナ	病害虫の発生や高温障害による生育不良・品質の低下・収穫量の減少
	サトイモ	少雨の影響や灌水不足による収穫量の減少(肥大不足、腐敗など)
	ブロッコリー	発芽不良や苗の生育不良・品質の低下(不整形花蕾、黒ずみなど)
	ニンジン	発芽不良・収穫量の減少・品質の低下(不整形、奇形など)
	ダイコン	発芽不良・収穫量の減少・品質の低下(内部の褐変、空洞など)
	キャベツ	発芽不良や苗の生育不良・病害虫の発生(シンクイムシなど)
その他	果菜類の着果不良・日焼け果・裂果・立枯れ、ウド根株の腐敗、枝豆の子実肥大不良、水稻の収穫量の減少や白未熟粒等の品質低下、害虫(シンクイムシ、アブラムシ、ヨトウムシなど)の大量発生、イチゴ苗の花芽分化の遅れなど	
果樹	ナシ・ブドウの果実や葉の日焼け、ナシのハダニ被害、ブドウの着色不良、カメムシの被害、苗木等の枯死・衰弱、ブルーベリーの果実肥大不良など	
花き	花苗(マリーゴールド、ピオラ、パンジーなど)の生育不良、葉ポタンの着色不良、ナデシコ・サルビアなどの鉢上げ後の活着不良など	
植木	苗木や挿し木の枯死、落葉樹(シャラ、モミジ、ハナミズキなど)の高温障害など	
その他	ブルーベリーの摘み取り園への来客数の減少、管理作業(除草など)ができないなど	

## 4 猛暑に対する対応方法

近年の猛暑に対してどのような工夫や対策をしているか選択肢から選んで回答(複数可)してもらったところ、1位が「作業時間の変更」(219件)、以下「資材の活用」(134件)、「作型や作期の変更」(115件)、「品種や品目の変更」(114件)でした。

猛暑に対する対応方法について (n=335)

